

有珠山

1 概況（平成 15 年 2 月）

火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

2 噴煙活動の状況

西山西麓（N）火口群のN-B火口の噴煙は、風が弱いなど気象の影響により時々高く観測されましたが、概ね火口上 100m前後で推移しました。山頂火口原、昭和新山でも特別な変化はありません。金比羅山（K）火口群では K-A 火口壁から立ち上るわずかな噴気が時折観測された程度でした。

3 地震活動の状況

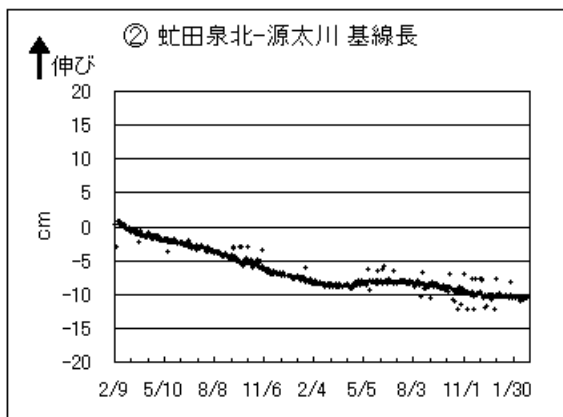
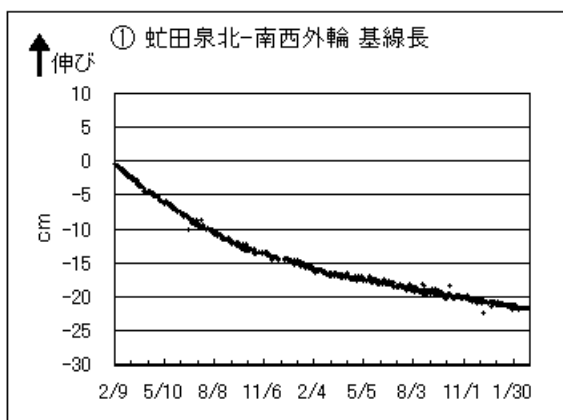
地震回数は 1 日あたり 0～3 回で推移しました。震源はほとんどが山頂火口原の浅いところと推定されます。火山性微動および空振は 2001 年 9 月以降観測されていません。

月別地震回数（A点）

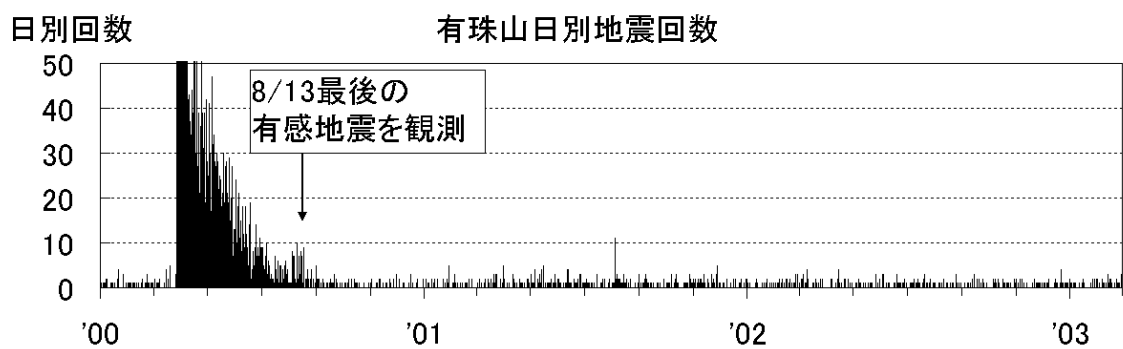
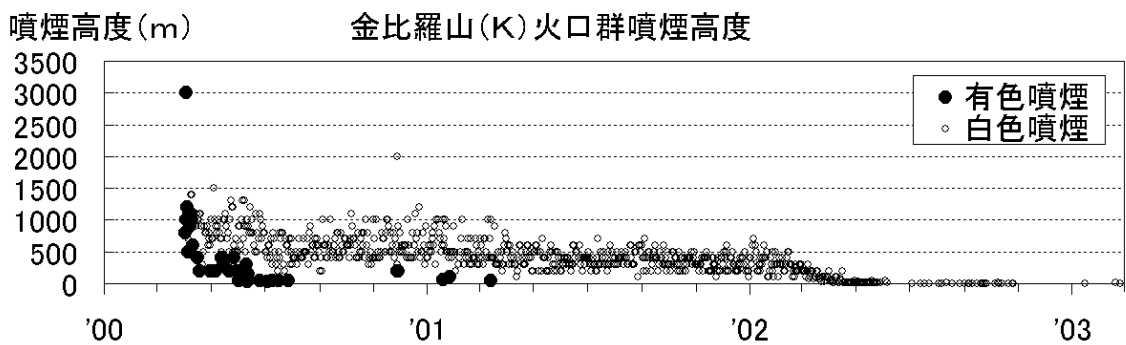
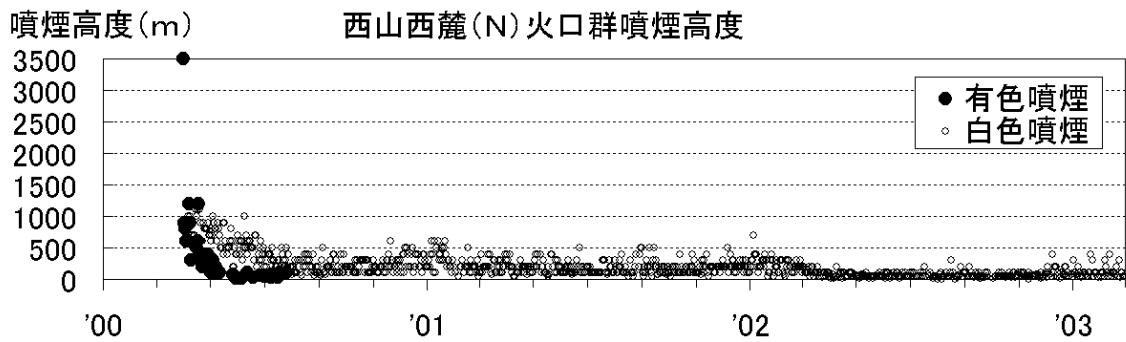
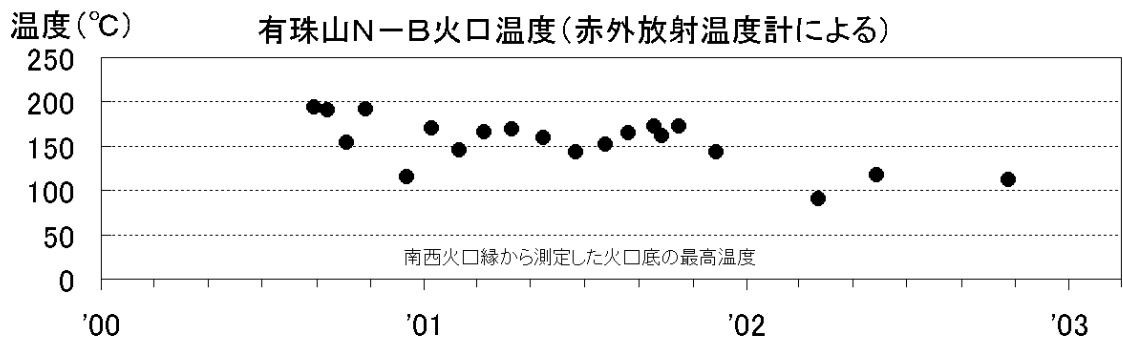
2002～2003 年	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
地震回数	27	23	18	23	26	17	19	21	18	24	22	29
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

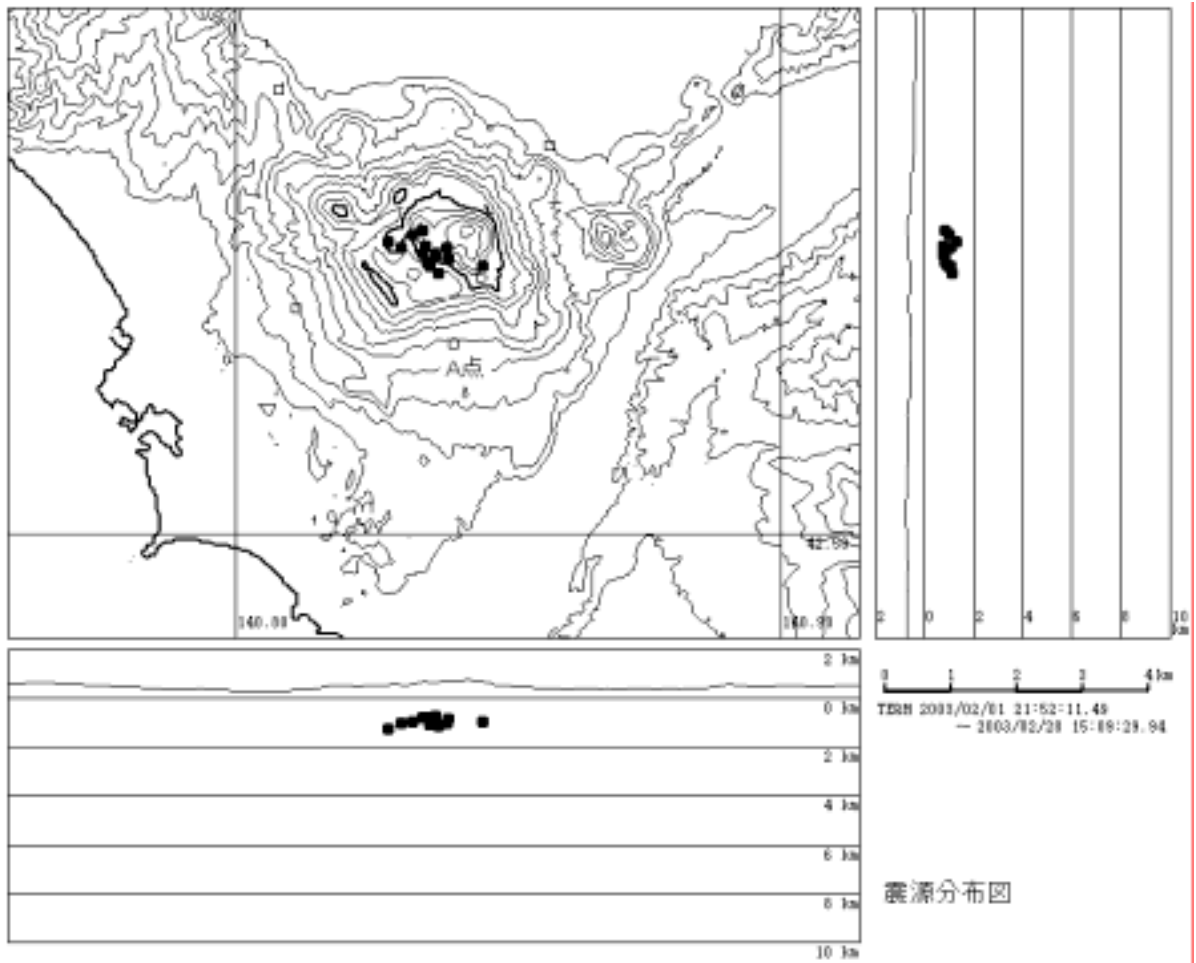
西山西麓を中心とする収縮傾向は 2002 年春頃まで鈍化しながら続いていましたが、その後の変化は山頂付近の変動（南西外輪の北方向への動き）を表していると考えられます。



有珠山基線長変化（2001 年 2 月 9 日～2003 年 2 月 28 日）



有珠山の火山活動経過図 (2000年1月1日～2003年2月28日)



有珠山震源分布図 (2003 年 2 月 1 日～2 月 28 日) □印は地震計